平成２９年度　自己評価書

学校名	和歌山市立　楠見東小　　学校
校長氏名	棚田　修司
作成日	平成29年12月12日

1 教育目標

正しい人権意識を持ち、豊かな知性と情操を身につけ、健康で自主性に富み、みんなと協力して力強く生きぬく子を育てる。

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	確かな学力	ゆたかな心
重点目標【P】	・学校からの情報発信に工夫し、保護者や地域の方々との連携を深められるようにする。 ・地域や保護者の願いを学校運営に積極的に取り入れる。	・国語科を研究の窓口として取り組み、コミュニケーション能力の育成に努める。 ・課題に意欲的に取り組み、自ら学び考えていこうとする力を育てる。	・相手の気持ちを理解でき、思いやりのある心を持てるようにする。 ・正しいと思うことに進んで取り組み、最後まで粘り強くやり抜く子どもを育てる。
取組の状況【D】	・地域へ学校だよりの発行を通じ、積極的な情報発信に努めた。 ・子どもセンター事業に積極的に外部人材の活用を行った。 ・民生児童委員との懇談会を持ち、情報交換を行い生徒指導の推進を図った。 ・楠見地区人権講演会を開催し、地域の方々と人権について研修を深めた。	・「東タイム」及び「チャレンジタイム」で基礎・基本の定着を図った。 ・「きのくに学力定着フォローアップ事業」により、教員の授業力アップを図った。 ・「家庭学習の手引き」を配布して、家庭学習について保護者の協力を得て、家庭学習の充実を図った。	・挨拶や掃除をしっかり取り組み、学校生活の中に自然な形で人と人との関わりを大切にするように努めた。 ・様々な体験学習を重視して、豊かな心が養えるよう取り組んだ。 ・子ども見守り隊や介護老人施設の方々と児童の交流を通じ、児童の豊かな心の醸成を図った。 ・集会活動を通じ、異年齢集団の交流を深めるよう努めた。
取組の成果と課題（評価結果【C】）	・学校だよりを読んで、地域の方々が、来校して学校行事へ出席いただいた。より詳しい案内の必用性があった。 ・楠見地区民生児童委員との懇談会を持って、気になる家庭や児童について、積極的な意見交換ができた。 ・楠見地区権講演会にたくさんの地域や保護者の方々が参加いただき盛会となった。	・東タイムやチャレンジタイムの活用で基礎学力の定着が図られ、全国学テにも結果が表れた。 ・「きのくに学力定着フォローアップ事業」の実施で授業力アップになり、一人一人の教員の意識が高まった。 ・「家庭学習の手引き」を配布することにより、保護者の理解・協力を得る機会になった。今後内容の充実を図る必要がある。	・朝夕の登下校時の挨拶はまだまだ十分でないので、これからも続けていく必要がある。 ・様々な体験学習において、一人一人が活躍する場ができて良かった。 ・介護老人施設や老人会との交流により、他人を思いやる心や人権意識の向上によい効果を得ることができた。 ・集会活動は良い情報発信の場にもなった。
次年度に向けての改善方法【A】	・保護者や地域住民の人がいつでも気軽に学校に来てもらえるように、学校だよりに詳しい案内を掲載する。 ・地域の方々や関係機関との連携を深め、学校行事等の開催や情報交換に努める。 ・30年度行事は決まっていないが、地域の人々と一緒になっての行事開催に努めたい。	・全国学テの結果を基に研究課題を再検討する。 ・授業力アップに引き続き取り組む。 ・東タイム及びチャレンジタイムの取組を系統的に実施する。 ・「家庭学習の手引き」の内容の充実を図る。 ・各学級に在籍する特別な支援が必要な児童に対しての取組を充実さす。	・挨拶運動など積極的な取組が必要と考える。 ・様々な体験学習はさらに充実できるよう検討する。 ・介護老人施設や老人会との交流を通じ、人を思いやる心を育てる取り組みを今後とも続ける。 ・自尊感情の向上を目指した取組を進める。

3 その他の課題

・学校は楽しい学習の場となるようように、児童一人一人に適した「居場所づくり」を考えていく必要がある。人的・物的に限りある中でできる限り実現できるよう学校は努力する必要がある。地域や関係諸機関ならびに各種ボランティアの協力を得るなどして、粘り強く取り組んでいきたい。